

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2020. 10. 7 NO. 286

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



杉並区議会第3回定例会 決算特別委員会

保健所費を増額し、公衆衛生の強化を

2018年度 23区人口当たりの保健所費

区名	人口	保健所費(千円)	一人当たり(円)	順位
千代田	63,635	223,643	3,514	4
中央	162,502	807,730	4,971	2
港	257,426	418,779	1,627	17
新宿	346,162	1,116,429	3,225	5
文京	221,489	148,895	672	22
台東	199,292	1,471,082	7,382	1
墨田	271,859	772,424	2,841	10
江東	518,479	1,232,701	2,378	13
品川	394,700	445,545	1,129	20
目黒	279,342	755,695	2,705	11
大田	729,534	644,284	883	21
世田谷	908,907	1,228,948	1,352	19
渋谷	226,594	652,008	2,877	8
中野	331,658	205,114	618	23
杉並	569,132	1,031,655	1,813	16
豊島	289,508	1,216,535	4,202	3
北	351,976	554,668	1,576	18
荒川	215,966	616,058	2,853	9
板橋	566,890	1,137,521	2,007	14
練馬	732,433	1,340,349	1,830	15
足立	688,512	2,090,898	3,037	7
葛飾	462,591	1,244,139	2,690	12
江戸川	698,031	2,133,756	3,057	6
計	9,486,618	21,488,856	2,265	

※東京都発行「平成30年度特別区決算資料」をもとに作成（人口は平成31年1月1日時点）

職員の超過勤務は深刻

9月30日から決算特別委員会が行われています。私は、初日の質疑で、新型コロナウイルス対策で最前線を担う保健所体制の強化を求めました。

コロナ対策で、保健所職員は相談対応や濃厚接触者の追跡など、深夜に及ぶ残業で過酷な労働を強いられました。区は、保健所職員の負担軽減のために、派遣や全庁的な応援体制などで強化を図ってきたと言っていますが、質疑のなかで、1カ月112時間にも及ぶ残業が発生していた実態が明らかになりました。（下表）

職員の健康にも直結する問題であり、常勤職員を増員すべきと迫りました。

保健所費は23区中16位

職員の増員のためには、保健所運営費の増額が不可欠です。私は23区の保健所費（8割が人件費）を調査。その結果、2018年度の杉並区の一人当たりの保健所費は1813円で、23区中16位であることがわかりました。国の専門家会議も保健所体制の強化を提言しており、保健所の運営費を増すべきだと求めました。

区は「来年度に向け、過度な超過勤務が解消されるよう取り組んでいきたい」と答えましたが、庁内の応援体制や派遣職員の活用など、これまでの対応には言及しませんでした。

■杉並保健所職員の超過勤務の状況について（平均超過時間 月別、令和2年3月～7月実績）

		令和2年 3月	令和2年 4月	令和2年 5月	令和2年 6月	令和2年 7月	5箇月計
杉並保健所全体	超過時間 計 (時間)	2,648	3,788	2,646	2,049	2,394	13,525
	対象職員数 (人)	136	150	150	150	150	736
	1人当たり平均超過時間 (時間)	19.5	25.3	17.6	13.7	16.0	18.4
	個人最高超過時間数 (時間)	81	112	99	83	93	361

※超過勤務時間は、休日給（135/100）、週休日の振替（25/100）を除く。

※対象職員は、常勤＋再任用フルタイムを対象。ただし、育児休業および病気休職者等は除く。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

「補聴器購入に支援を！」実施を迫る

10月5日の決算特別委員会では、高齢者への補聴器購入助成について質問しました。

認知症対策としても 早期の補聴器使用が重要

70歳以上の約半数は難聴があるとされ、コミュニケーションにも支障が出て、社会的に孤立することで認知症のリスクが高まると言われています。

難聴の高齢者が日常生活の質の向上を計るうえで補聴器の使用は有効で、早期からの使用が重要だと言われています。しかし、補聴器は3万円から30万円と高額で公的補助がないため、低所得者は手が出ません。

高齢者からは補助制度を作ってほしいとの要望が寄せられています。

23区でも助成実施広がる

補聴器購入助成については、東京都が、包括補助事業で低所得者の高齢者に対し補聴器の支給等を行っている区市町村を支援しています。

昨年度、23区のうち都の事業を活用して補助を行っている自治体は3区、区独自に実施している自治体は5区でしたが（下表）、今年度から、足立区と文京区も補助制度を開始。助成を行う自治体は広がってきています。

私は、杉並区としても、補聴器の購入助成の実施に踏み切るべきと迫りました。

区は「公的補助については様々なやり方があり、他自治体の状況を調査しているが、現時点で、区として補助は考えていない」と答弁。助成を求める高齢者の願いに背を向ける姿勢でした。

高齢者人口が増えていくも、認知症対策の上からも、聞こえの支援は重要課題です。「補聴器購入助成の実施を」の区民世論を広げ、実現に向けて力を合わせましょう。

区市町村	対象年齢	事業名	対象者	本人負担
中央	65	高齢者医療補助用具購入費用の助成	本人の所得が所得制限以下 医師より必要と認められた者	区助成額（3万5千円） を超えた額
新宿	70	補聴器の支給	医師より必要と認められた者	2千円 生活保護受給者は免除
墨田	65	墨田区高齢者補聴器購入費助成事業	住民税非課税で、 医師より必要と認められた者	区助成額（2万円） を超えた額
江東	65	補聴器の支給	本人所得が区の基準所得以下 医師より必要と認められた者	なし
大田	70	補聴器購入費用の助成	住民税非課税で、 医師より必要と認められた者	区助成額（2万円） を超えた額
豊島	65	高齢者補聴器購入費助成事業	介護保険料の所得段階が1～5で、 医師より必要と認められた者	区助成額（2万円） を超えた額
葛飾	65	補聴器購入費用の助成	住民税非課税で、 医師より必要と認められた者	区助成額（3万5千円） を超えた額
江戸川	65	補聴器購入費用の助成	住民税非課税で、 医師より必要と認められた者	区助成額（2万円） を超えた額

（注）対象年齢は記載年齢以上の方です。

※千代田区は、年齢制限なく「補聴器購入費の助成」を実施。

（日本共産党東京都議団発行のパンフレットより）

区民の願い、声を区政に！ 2021年度予算要求書提出を提出しました

9月25日、日本共産党杉並区議団は、来年度予算編成に対する予算要求書を区長あてに提出しました。

予算要求書は、区内の様々な団体から寄せられた要望を精査し、党区議団の独自調査や政策なども加え作成しました。予算要求書は新型コロナ対策56項目、重点要望28項目、個別要望698項目にわたります。新型コロナウイルス感染症のもとで行なわれる来年度の予算編成において、杉並区が区民の声を受け止め、各施策に反映することを求めます。



政策経営部長に要求書を手渡しました。